

## ⑪ 公開実用新案公報 (U)

平3-87949

⑫ Int. Cl. 5

F 02 D 45/00  
41/14  
G 01 N 27/409

識別記号 序内整理番号

368 H 8109-3G  
K 9039-3G

⑬ 公開 平成3年(1991)9月9日

6923-2G G 01 N 27/58

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

B

⑭ 考案の名称 空燃比センサの異常検出装置

⑮ 実 願 平1-149877

⑯ 出 願 平1(1989)12月26日

⑰ 考案者 田村 英之 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社  
内⑰ 考案者 荒巻 孝 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社  
内

⑰ 出願人 日産自動車株式会社 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

⑰ 代理人 弁理士 志賀 富士弥 外3名

## ⑲ 実用新案登録請求の範囲

排気系に介装された触媒コンバータの上流に第1の空燃比センサを配設し、前記触媒コンバータの下流に第2の空燃比センサを配設して、所定の運転条件下でそれら2つの空燃比センサの出力に基づき内燃機関の空燃比をフィードバック制御するシステムにおける空燃比センサの異常検出装置であつて、

前記触媒コンバータの触媒が活性化しているか否かを触媒の温度に関連する情報に基づいて判定する触媒活性化判定手段と、

前記触媒が活性化していないときに前記第2の空燃比センサの出力が異常であるか否かを判定する異常判定手段と

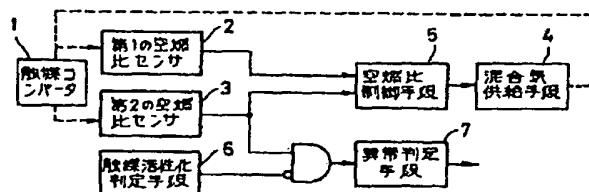
を備えたことを特徴とする空燃比センサの異常検出装置。

## 図面の簡単な説明

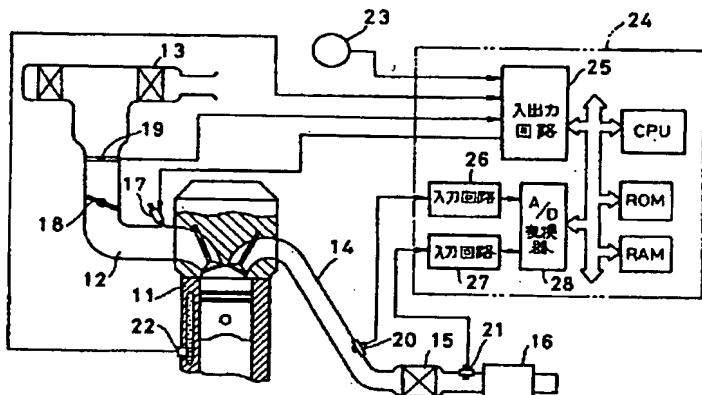
第1図はこの考案のクレーム対応図、第2図はこの考案の一実施例の構成を示す説明図、第3図はO<sub>2</sub>センサの出力を説明するための特性図、第4図は実施例の動作を説明するためのフローチャート、第5図は触媒が劣化したときの下流側のO<sub>2</sub>センサの出力変化を説明するための特性図である。

1……触媒コンバータ、2……第1の空燃比センサ、3……第2の空燃比センサ、4……混合気供給手段、5……空燃比制御手段、6……触媒活性化判定手段、7……異常判定手段。

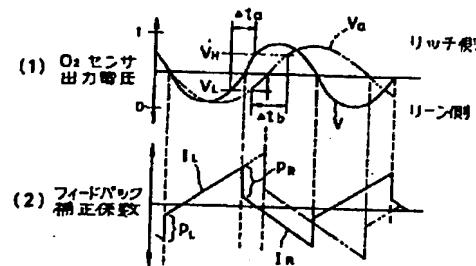
第1図



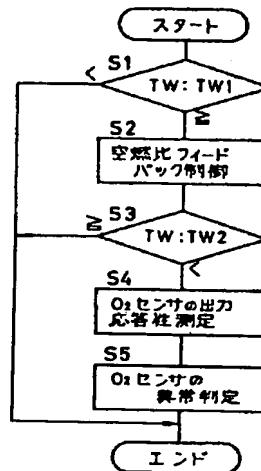
第2図



第3図



第4図



第5図

